

エムドゲイン療法

豚の歯胚(歯の元となる細胞)から取り出した「エナメルマトリクスタンパク」という成分が、人間の顎の骨や、歯根をコーティングしているセメント質、歯根周囲の硬い結合組織などの再生を促進するとの証明がなされ、現在治療に応用されています。

安全性も高く、現在までに副作用などの報告もありません。

治療は切開を加えた後に、骨の無くなっている部分をきれいに清掃後、エムドゲインのジェルを塗布し、また歯茎をもとに縫い合わせます。術後の痛みや腫れもほとんどないのが特徴ですが、外科処置ですので術後の痛みや腫れが全くないわけではありません。ですので、手術日は良く検討して下さい。

術後は数年間をかけて、ゆっくりと骨が再生をし続けると言われています。



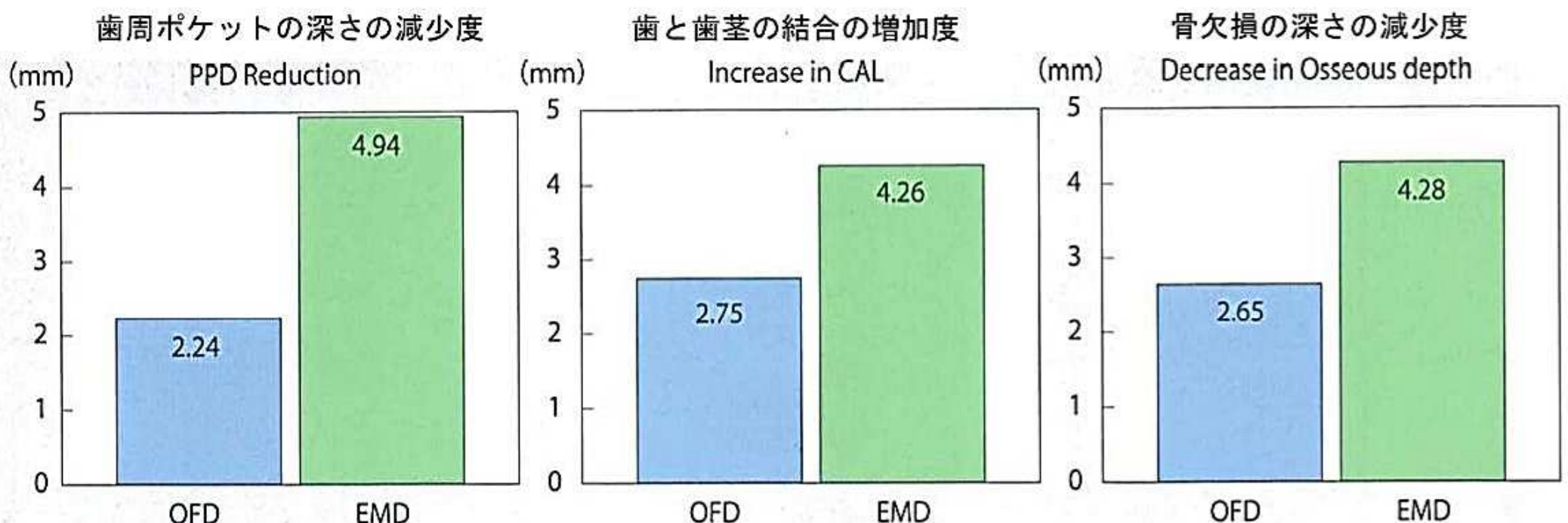
骨の欠損が極めて大きい場合は、術中の判断でエムドゲイン治療ができないことがあります。その場合は通常の保険の切除療法か、可能であれば GTR 法と骨移植を行います。

エムドゲイン療法に加えて、人工骨やご自分の骨移植が必要な場合もあり、その際は別途材料費等が追加となります。

使用目的

歯周ポケットの深さが6mm以上、X線写真上で深さ4mm以上、幅2mm以上の垂直性骨欠損(根分岐部を除く)を有する中等度又は重度の歯周炎の歯周外科手術の際に、露出された歯根面上に補助的に局所適用する。

保険の切除療法とエムドゲイン療法の効果の差



垂直性骨欠損における open flap debridement (OFD) とエムドゲイン® (EMD) の治療効果 (Froum 2001⁶⁾)

エムドゲイン使用グループでは臨床パラメータの改善が有意に高い